

「ノロウイルスによる食中毒」



ノロウイルスとは？

1年を通して食中毒や感染症の原因となるウイルスです。特に冬場の食中毒の主な原因となります。感染経路は「食べ物から人」だけでなく「人から人」にも感染するため、集団感染を引き起こさないように予防に努めましょう。

特徴

感染力が非常に強く、少量（10個以上）のウイルスでも感染することがあります。なかには、感染しても発症しない人もいますが、感染者の便・吐物からは1gあたり数億個のウイルスが排せつされ、症状が治っても数週間はウイルスが排せつされるのも特徴です。

そして、ウイルスは乾燥すると空气中に飛散し、消毒用アルコールでの消毒効果も期待できません。

また、食品中では増殖せず、人の腸管内でのみ増殖します。食品の鮮度については関係がありません。

症状

感染して12～48時間後に吐き気・おう吐、下痢、発熱などがあらわれ、発症してから2～3日で回復しますが、抵抗力の弱い高齢者や乳幼児は重症になることもあります。

感染を予防するポイント

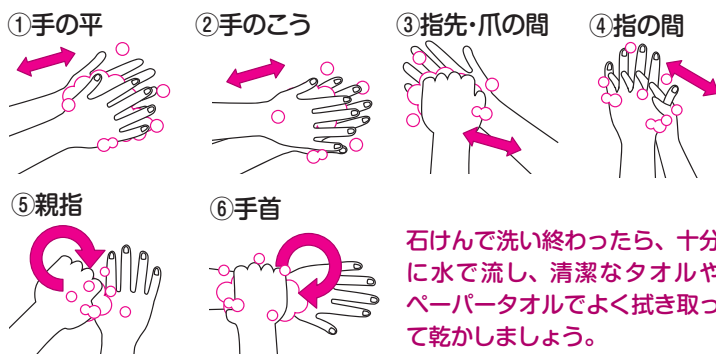
- ・2枚貝などの食材は85℃以上で1分以上加熱し、食材のノロウイルスを殺菌する。
- ・調理器具は十分に洗浄し、85℃以上で1分以上加熱するか、塩素系漂白剤（0.02%）で消毒する。
- ・おう吐、下痢などの症状がある人は調理作業を控える。
- ・トイレの後や外から帰った時は必ず手を洗う。
- ・下痢・腹痛のある人は、お風呂は最後に入るかシャワーにする。
- ・感染者の便や吐物は、マスクや手袋を着用し、処理後は手洗いを忘れないようにしましょう。（衣服についた便や吐物は、普通の洗濯洗剤では殺菌できません。）

正しい「手洗いが感染予防の基本」

ノロウイルス感染予防の基本は手洗いです。外出から帰った時・食事の前やトイレの後に手の汚れをこすり落とすような感覚でていねいに洗ってください。

2回手洗いが効果的です。

※消毒用アルコールは、ノロウイルスに対してあまり効果がありません。



骨髄バンクにご登録ください

骨髄等の移植は、白血病など正常に血液が生成されなくなった人の骨髄等を、健康な人から提供された骨髄等に置き換えて、病気を根本的に治療しようとするものです。

骨髄等の移植を希望している方は、年間2,000人を超えています。

そうした患者さんのために、ドナー登録している方は47万人以上いますが、型が一致する確率は、数百人から数万人に一人といわれています。

多くの患者さんを救うためには、骨髄バンクへのドナー登録にご協力をお願いします。

★日本骨髄バンクのホームページ <http://www.jmdp.or.jp/>

★身近な登録窓口 美作保健所 電話(0868)23-0163

骨髄等ドナー支援制度

日本骨髄バンクに登録されている方で、骨髄等の提供を完了した方に対して助成を行う制度です。

詳しくは、鏡野町ホームページをご覧ください。

骨髄バンク

